

2001年3月11日発行(毎月1回11日発行)
Vol.61(3)/通刊第701号(再刊第659号)
昭和21年6月27日第三種郵便物認可 ISSN 0289-0909

No.701 MONTHLY THE NIPPON Dental Review

3

日本歯科評論

2001.MARCH

特集

抜歯の偶発症への対応

—文献と臨床の実際を知り、対応を考える

- 針刺し事故/器材・器具の破折や迷入/高田 訓
- 歯の損傷/歯肉・口唇・周囲口腔粘膜の損傷/薬剤アレルギー/覚道健治ほか
- 歯の迷入/抜去歯の誤嚥/本田雅彦
- 気腫/須賀賢一郎
- 神経損傷/関口奈穂子ほか
- 抜歯に伴う骨折/抜歯を中止するとき/近藤壽郎
- 後出血,皮下出血,麻酔後の咬傷,腫脹,開口障害,関節音,発熱/抜歯後異常疼痛,嚥下時痛,神経麻痺/感染,骨鋭縁の出現,抜歯窩内異物/高橋 哲
- 局所麻酔による局所的合併症/局所麻酔による全身的合併症/國分正廣

Point of View

- <21世紀における歯科医療の可能性を求めて!>
シリコン系軟性材料を用いた義歯製作法(2)
/村岡 博・村岡秀明



「静物」 千葉県船橋市/越川核子

特集

抜歯の偶発症への対応

—文献と臨床の実際を知り、対応を考える

審美歯科技術への着眼とITの応用で、 白骨女性の身元を早期確認

なか はら えつ お
中原悦夫

協立歯科
〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-2-8
(寿豊ビル4F)

昨年11月、1通のEメールが山梨県警から届いた。富士山青木ヶ原における殺人被害の恐れのある白骨女性の身元調査について、歯科医師会のホームページ(HP)の閲覧依頼であった。恐らくアドレスを公開している先生方にも同様のメールが届いたことであろう。一応目だけ通そうとHPを開いて記憶をたどってみたが、情報不足もあって思い当たるケースもなく消去して終わった。ただ、ラミネートとジャケットを組み合わせた特徴があったが、これらは当院にも多いケースなので、気がかりにはなっていた。

その直後である。山梨県の警察協力医である池谷 剛先生から、「審美歯科の特徴があるので山梨県警に協力してほしい」との連絡が入った。

◇山梨県警のHPが身元確認に一役を!

早速、県警の方々と会って、初期

のHPを閲覧した時の画像に対する私の感想を伝え、歯科医師からの情報提供を促進するために、より鮮明に、より具体的に作り替えることから、取りかかることにした。

上下顎の治療痕跡から、2~3人の歯科医が治療に関与していると推定した。審美に関わる歯科医の多くは1/2, 1/1の倍率で術前術後のスライドを記録していることが多いことに着眼し、それぞれの特徴を同倍率で再撮した。さらに、レントゲン写真も同時に載せることを助言した結果、県警のほうで、HPとチラシを以下の特徴に分けて新たに作製した。

特徴1: 1 P.L.V, 1 P.J.Cで、根管処置も含めて、きわめて完成度の高い審美歯科処置がなされている。

特徴2: 134 MB連結で、歯周組織の過度の崩壊は認められないが、連結してある。

メタルフレームの設計に審美的配慮がなされているが、マージン精度から111とは違う技工士によって作製されている。

特徴3: その他の部位はごく一般的な治療であり、8は1年未満に技工されている。

HPを開けるのはあくまでも任意によるものなので、新たにHPの情報を見ていただくために、働きかける歯科医を絞り込む必要があった。

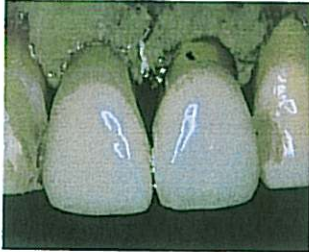
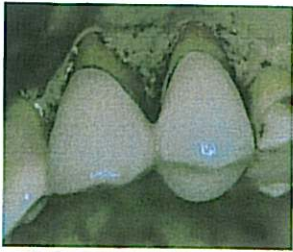
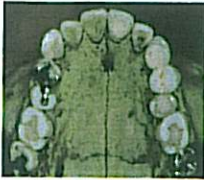



111と212の処置の違いから、患者は111のみを指定して審美治療を希望したと推定。まず、日本審美歯科学会の副会長である松尾 通先生のご好意を得て、学会の名簿の中から一般人への知名度の高い先生を、女性週刊誌等の情報誌と照合して絞り込むことを助言。また、美容外科を併設している歯科の可能性も考えられた。技工面からは、特にトレーニングを受けた技工士による製

捜査協力のお願

(身元不明白骨死体の捜査に関する情報提供依頼)

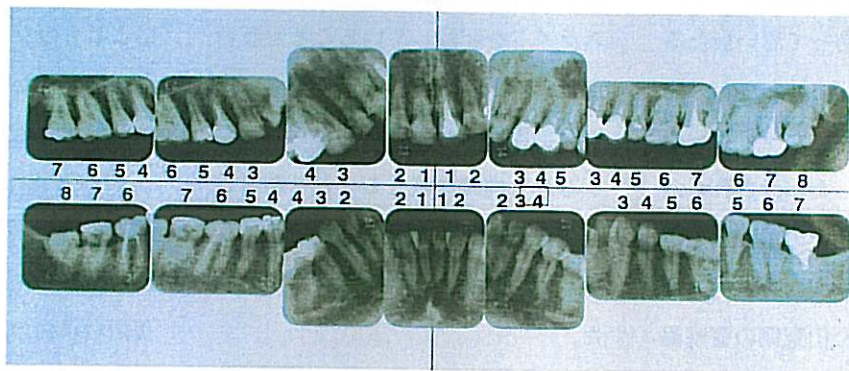
平成12年10月16日、山梨県富士山青木ヶ原樹海において発見された殺人死体遺棄被害の女性の白骨死体(年齢30歳前後、身長155cm位、血液型B型、死亡推定本年8-9月頃)の身元を捜査しております。特徴は、1 | ポーセレンラミネートベニア、1 | ポーセレンジャケットクラウン、3 | 4 | メタルポンドです。歯形写真及び審美治療などの特徴からお心当たりのある先生は、下記まで連絡をお願いします。

また山梨県警察のホームページに、詳細な内容や写真を掲載しましたので、ぜひご覧ください。

1 1 (表)	3 4 (表)	上顎	下顎
			
1 1 (裏)	3 4 (裏)		
			

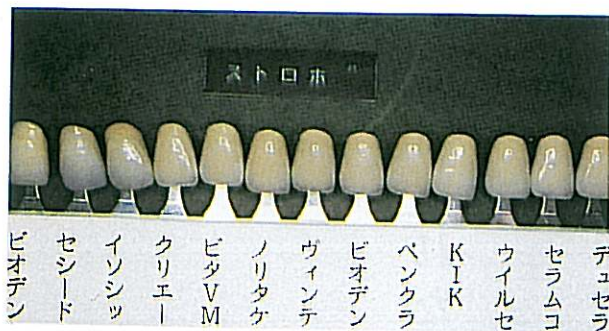
<ul style="list-style-type: none"> 1 ポーセレンラミネートベニア (切歯のみ・生活歯) 2 コンポジットレジン充填 (MB・生活歯) 3 コンポジットレジン充填 (ODP・生活歯) 4 インレー (3/5 CCK・MO生活歯) 5 インレー (2/5 CCK・MO生活歯) 6 コンポジットレジン充填 (O・生活歯) 7 インレー (3/5 CCK・ODB・生活歯) 8 欠損 (生前) 	<ul style="list-style-type: none"> 1 ポーセレンジャケットクラウン (尖歯歯) 2 コンポジットレジン充填 (MB・生活歯) 3 メタルポンド (フルベイク型・尖歯歯) 4 メタルポンド (フルベイク型・尖歯歯) 5 コンポジットレジン充填 (MOD生活歯) 6 コンポジットレジン充填 (OP・生活歯) 7 全部歯冠修復 (傾斜歯位置・尖歯歯) 8 C (咬合板位置)
---	---

レントゲン	右	左
<ul style="list-style-type: none"> 8 半冠体 (唇位歯・生活歯) 7 インレー (3/5 CCK・OB・生活歯) 6 コンポジットレジンインレー (MOD・尖歯歯) 5 インレー (3/5 CCK・MOD・生活歯) 4 インレー (3/5 CCK・OD・生活歯) 3 健全歯 2 健全歯 1 健全歯 	<ul style="list-style-type: none"> 8 欠損 (生前・抜歯後一年未満) 7 全部歯冠修復 (尖歯歯) 6 コンポジットレジン充填 (OL・生活歯) 5 コンポジットレジン充填 (O・生活歯) 4 コンポジットレジン充填 (OD・生活歯) 3 健全歯 2 健全歯 1 健全歯 	



連絡先 山梨県富士吉田警察署
 (代) 0555-22-0110 FAX 0555-22-0294
 フリーダイヤル 0120-006-270
<http://www.pref.yamanashi.jp/police/soumu/osirase1.htm> をご覧ください。

山梨県警が作った、3つの特徴にフォーカスをあてたダイレクトメール用のチラシ。ホームページも同様に作成され、日本歯科医師会のホームページにリンクされた。



ストロボ光源で撮影した陶材（10社）および硬質レジン（3社）。色調はすべてビタシェードA3である（葭田・竹井論文³⁾より引用）。



ブラックライトブルー（254nm）照射で撮影したもの。材料の違いがはっきり分かれる（葭田・竹井論文³⁾より引用）。

作の可能性が高いことから、セラミック開発の第一人者、クワタカレツジの桑田正博先生から受講生名簿の提供を受けることもできた。

◇ブラックライトで材料特定！

さらに、使用された材料を特定できれば、各メーカーからの販売リストやユーザーリストとの集合グループを絞り込むことができる。クラブやカラオケボックス等で使われるブラックライトブルー照射時の蛍光反射を利用して、蛍光性の違いにより、桑田先生と材料の識別を試みた。当初、111はオブティックで、134は松風のセラミックではないかと思われた。オブティックの代理店からオブティック倶楽部のリストも提供されたが、4年前に販売が中止されていた。となると、アフロテックの可能性も出てきたので、日本大学歯学部法医学教室の小室歳信教授に定性分析をお願いし、結果を待つことにした。

134に関しては、蛍光検査による人工歯識別の第一人者である同門の葭田秀夫先生によって、ノリタケの製品である可能性が高いこともわかった。

◇審美歯科臨床における法医学（IT時代の警察協力）のあり方

結果的に、本件はHP立ち上げ後、わずか2週間たらずの12月6日に名古屋の開業医の先生から身元が判明し、12月30日には被疑者の検挙に至った。

今回、協力し合った先生方は日本大学歯学部法医学教室の同門会“駈法会”のメンバーで、普段はそれぞれの分野で臨床につきながら、年に数回集まって法医学に関する研究会や情報交換を行っている人たちである。IT時代における臨床医の警察協力のあり方は、こうした組織と連携しながら新たに構築していく必要性を感じた。

特にEメールの利用に際し、発信

者側（警察）は、歯科医や技工士の記録との照合や記憶を呼び起こしやすくするべく、法医学的鑑定後の情報を臨床医と同じ視野の画像で所見を伝えることがポイントであった。

また受信者側（歯科医や技工士）は、審美や矯正といった専門的治療を行っている場合は警察協力連絡ファイルを設置して、その中にメールアドレスの登録を行い、いつでも警察からの閲覧要請に協力できる体制をとることが望まれる。

今回の経験は、一般臨床を行う上でのもう一つの社会貢献でもある、法医学のIT時代のあり方を考察させられる1件であった。

参考文献

- 1) 葭田秀夫：ブラックライトの下での補綴物の蛍光性について、*歯科審美*, 5:121-122, 1993.
- 2) 葭田秀夫：人工歯の蛍光に関する審美的研究 陶材・レジン等歯冠修復材料の蛍光性について、*歯科審美*, 10:115-120, 1997.
- 3) 葭田秀夫, 竹井哲司：蛍光検査による人工歯（メンタルボンド用陶材）の識別について、*日法医誌*, 47(4):310-314, 1993.